



令和4年1月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

令和3年12月10日

上場会社名 株式会社 精養軒

上場取引所 東

コード番号 9734 URL <https://www.seiyoken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 裕

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 清田 祐司

TEL 03-3821-2181

四半期報告書提出予定日 令和3年12月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 令和4年1月期第3四半期の業績(令和3年2月1日～令和3年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
4年1月期第3四半期	572	2.7	739		418		433	
3年1月期第3四半期	588	76.5	878		705		733	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
4年1月期第3四半期	166.40	
3年1月期第3四半期	281.67	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
4年1月期第3四半期	5,225		2,054		39.3	789.80
3年1月期	5,620		2,468		43.9	948.86

(参考)自己資本 4年1月期第3四半期 2,054百万円 3年1月期 2,468百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
3年1月期		0.00			
4年1月期		0.00			
4年1月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現時点において令和4年1月期の配当予想については、中間配当金は無配、期末配当金は未定であります。

3. 令和4年1月期の業績予想(令和3年2月1日～令和4年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期									

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

令和4年1月期の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、我が国経済は深刻な打撃をうけ、現在も収束の時期やその影響は見通すことができず、極めて不透明な状況にあります。今後、業績予想が合理的に算定可能となった時点で速やかに公表いたします。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	4年1月期3Q	2,628,000 株	3年1月期	2,628,000 株
期末自己株式数	4年1月期3Q	27,423 株	3年1月期	27,384 株
期中平均株式数(四半期累計)	4年1月期3Q	2,600,584 株	3年1月期3Q	2,600,616 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、昨年来の新型コロナウイルス感染症拡大により、極めて深刻な事態となりました。今年度に入り、同感染症が拡大と収束を繰り返す中、製造業の収益は堅調な一方で、非製造業、特に宿泊・飲食サービス業は、厳しい収益環境が続きました。

飲食業界におきましては、9月以降、同感染症の新規感染者数が急速に減少する中、10月には緊急事態宣言が解除され、消費マインドは徐々に回復に向かいつつありますが、未だ第6波への警戒感から多人数の会食等は敬遠されており、本格的な回復基調にはいたっておりません。

このような情勢下、当社といたしましては、お客様、従業員の安全確保を最優先課題と位置づけ、感染防止対策を徹底し、10月以降、全店での営業を再開し、営業の強化や効率的な人員配置などコスト削減に努めて参りました。

しかしながら、緊急事態宣言下の長期にわたる営業制限や当社店舗が集中する上野公園の大幅な来園者減少、多人数による宴会への警戒感などから、未だ売上の回復にはいたらず、引き続き、業績は低迷しております。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は572百万円（前年同期比2.7%減）となりました。営業損失は739百万円（前年同期は営業損失878百万円）、経常損失は418百万円（前年同期は経常損失705百万円）、四半期純損失は433百万円（前年同期は四半期純損失733百万円）となりました。

今後の見通しにつきましては、今後、同感染症が収束に向かえば、令和4年にむけて、穏やかに非製造業も含めた景気回復が期待できるものと予想されます。

当社といたしましては、アフターコロナを見据えて、競争力強化のため、営業の強化、損益分岐点の引き下げ、将来を展望した人材育成を重点課題として取り組んで参ります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は前事業年度末と比べ395百万円減少し5,225百万円となりました。流動資産は372百万円減少の3,500百万円、固定資産は23百万円減少の1,725百万円となりました。

流動資産の減少の主な要因は、現金及び預金が228百万円及びその他が167百万円減少したことによるものです。

固定資産の減少の主な要因は、投資その他の資産のその他が31百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は前事業年度末と比べ19百万円増加し、3,171百万円となりました。流動負債は51百万円増加の280百万円、固定負債は32百万円減少の2,892百万円となりました。

流動負債の増加の主な要因は、買掛金が23百万円及び未払金が12百万円並びに賞与引当金が12百万円増加したことによるものです。

固定負債の減少の主な要因は、役員退職慰労引当金が11百万円増加した一方で、長期前受収益が54百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は前事業年度末と比べ414百万円減少し2,054百万円となりました。この減少の主な要因は、利益剰余金が433百万円減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を引き続き受け、緊急事態宣言が延長され、経済活動が抑制されるなど厳しい状況で推移しました。

9月以降、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種率の向上とともに感染者数が減少し、10月には緊急事態宣言が解除され、消費マインドは徐々に回復に向かいつつあります。

しかし、未だ第6波への警戒感から多人数の会食等は敬遠されており、本格的な回復基調にはいたっておりません。

令和4年1月期通期業績の予想は引き続き未定とさせていただきます。今後、合理的な業績予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和3年1月31日)	当第3四半期会計期間 (令和3年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,646,984	3,418,851
売掛金	12,912	38,397
たな卸資産	23,221	21,062
その他	189,685	22,483
貸倒引当金	△575	△318
流動資産合計	3,872,228	3,500,475
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	337,474	317,368
土地	609,188	609,188
その他(純額)	52,628	54,531
有形固定資産合計	999,290	981,087
無形固定資産		
投資その他の資産	2,023	3,363
投資有価証券	690,448	715,939
その他	55,806	24,375
投資その他の資産合計	746,254	740,314
固定資産合計	1,747,568	1,724,764
資産合計	5,619,795	5,225,239
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,739	29,108
未払金	64,263	75,814
未払費用	47,917	49,127
未払法人税等	844	758
前受収益	72,647	72,647
賞与引当金	11,390	23,240
その他	25,232	28,831
流動負債合計	228,030	279,525
固定負債		
退職給付引当金	532,203	534,587
役員退職慰労引当金	130,930	142,275
繰延税金負債	126,482	131,969
長期前受収益	2,129,036	2,074,550
その他	5,501	8,389
固定負債合計	2,924,151	2,891,770
負債合計	3,152,181	3,171,295

(単位：千円)

	前事業年度 (令和3年1月31日)	当第3四半期会計期間 (令和3年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	131,400	50,000
資本剰余金	4,330	85,730
利益剰余金	2,104,418	1,671,677
自己株式	△20,650	△20,685
株主資本合計	2,219,498	1,786,722
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	248,116	267,222
評価・換算差額等合計	248,116	267,222
純資産合計	2,467,614	2,053,944
負債純資産合計	5,619,795	5,225,239

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 令和2年2月1日 至 令和2年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自 令和3年2月1日 至 令和3年10月31日)
売上高	588,018	572,084
売上原価	493,755	456,300
売上総利益	94,263	115,784
販売費及び一般管理費	972,448	854,976
営業損失(△)	△878,185	△739,192
営業外収益		
受取利息	874	503
受取配当金	6,490	5,198
雇用調整助成金等	166,487	311,537
雑収入	4,959	11,013
営業外収益合計	178,810	328,252
営業外費用		
減価償却費	5,320	626
地代家賃	-	6,580
営業外費用合計	5,320	7,206
経常損失(△)	△704,696	△418,146
特別利益		
資産除去債務履行差額	-	2,793
特別利益合計	-	2,793
特別損失		
固定資産除却損	254	0
減損損失	-	13,196
店舗閉鎖損失	-	3,435
特別損失合計	254	16,630
税引前四半期純損失(△)	△704,950	△431,983
法人税、住民税及び事業税	758	758
法人税等調整額	26,819	-
法人税等合計	27,576	758
四半期純損失(△)	△732,526	△432,741

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。